

令和8年9月11日

保護者各位

鳥栖市立弥生が丘小学校
校長 今村 昇 治

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和8年度全国学力・学習状況調査について

令和8年4月23日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「読むこと」については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。目的に応じて、必要な情報を見付けたり、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめたりすることがよくできていました。
- ・「書くこと」については、全国の平均正答率を大きく下回っていました。筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えたり、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることに課題が見られました。

(2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「測定」「変化と関係」「データの活用」の領域においては、全国の平均正答率を上回っていました。特に、示された2つの表から、集計に誤りのある箇所を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述したり、帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ったりすることがよくできていました。
- ・「数と計算」「図形」の領域においては、全国の平均正答率を下回っていました。数を四捨五入して概数で表すこと、整数と小数の除法の計算をすること、直方体の箱の形を構成する面について理解することに課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校児童の姿

調 査 項 目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
朝食を毎日食べている。	89.6%	83.1%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	81.9%	82.8%
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	90.9%	90.7%
月～金曜日に、1時間以上勉強している。	40.3%	49.9%
PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成できる。	92.2%	79.1%
PC・タブレットなどの ICT 機器を使ってプレゼンテーション（スライド）を作成することができる。	87.0%	74.6%
PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理することができる。	74.0%	69.5%
将来の夢や目標を持っている。	83.1%	81.8%
人が困っているときは進んで助けている。	96.1%	92.7%
人の役に立つ人間になりたいと思う	97.4%	95.8%

- ・「朝食を毎日食べている」と解答した児童の割合は89.6%で、全国の割合を大きく上回っています。「同じ時刻に起きている」と答えた児童の割合は90.9%で、全国の割合と同程度でした。一方、就寝については、「そうしている・どちらかといえばしている」と回答した本校の割合は、全国の割合を下回っていました。
- ・田代中校区では、6年生の家庭学習時間の目安を60分～90分としています。平日授業時間以外に1時間以上勉強している児童は、40.3%と全国の割合を大きく下回っていました。（家庭学習や学習塾・家庭教師と勉強している時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれています。）1時間に満たない児童の中には、0～30分の児童が約19%いました。
- ・PC・タブレットなどの ICT 機器活用については、授業での活用スキルが全国を大きく上回っているといえます。
- ・「将来の夢や目標を持っている」「困っている人を助けている」「人の役に立つ人間になりたい」という項目で全国の割合を上回っていました。自分自身の未来に希望をもち、周囲の人を思いやる温かい心が育っていると思われます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

全職員で本校の傾向や課題を共有し、次の授業改善等に取り組みます。また、本校の良さを更に伸ばし、課題を解決する取り組みについて今後も検討を重ね、それを実践していきます。

- ・タブレット端末を有効に活用した授業づくりと基礎基本の定着に取り組みます。また、児童自らが問いをもち、考え方や方法を選びながら課題を解決し、振り返りを通して、次の学びへとつなげていく過程を通して、児童が自分の力をしっかりと伸ばしていける授業の在り方を工夫していきます。
- ・児童のよさを見つけ、認め、褒め、伸ばす指導を心がけ、一人一人に寄り添った適切な支援を行います。また、児童が心身ともに健康に日々の生活を送り、自分らしさを発揮できるよう、学校・家庭・地域が一体となって、児童の成長を見守り支えていきたいと考えています。
- ・家庭学習の充実に向けて、学校で内容を工夫するとともに、家庭学習が習慣化できるよう家庭と連携して引き続き取り組んでいきます。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 生活のリズムを整えてください。

- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を付けましょう。
- ◎TVやゲーム、スマートフォン・タブレット等の使用は時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎学習する時間や時間帯を決め、毎日取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。

2 お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎お子さんの声に耳を傾け、親子でたくさん語り合ひましょう。
- ◎お子さんが頑張ったことやよくできたことを積極的に褒めましょう。